

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	中小企業融資事業		コード	担当課係
			04-02-03-03	商工観光課工業振興係
事業実施期間			担当者	電話
		高坂 泰		
		64-1845		
総合計画 事業（政策）体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目	起業と創造が支えるまちづくり		
	小項目	工業		
	施策	中小企業の育成		

事業について	
目的	備前市の中小企業の発展
対象 (誰のために)	市内中小企業者
内容	中小企業者に対する融資制度、商工会議所、商工会による経営相談事業の補助

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
商工振興融資件数	180 件		
災害融資利子補給件数	29 件		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	5,961	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,147	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
			市債				市債				市債	
	合計	8,108	一般財源等	8,108	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.30	人
結果指標名	商工振興融資件数	
結果指標量	180	
単位	件	
対前年比	—	
事業費	5,584,800	円
単位当たりコスト①	31,027	円

結果指標名	災害融資利子補給件数	
結果指標量	29	
単位	件	
対前年比	—	
事業費	1,879,100	円
単位当たりコスト②	64,797	円

事業の成果	
成果指標名	商工振興融資件数
式又は説明	前年の件数を上回る
17年度	
成果指標量	180
対前年比	—
到達目標値	182
到達目標年度	毎年

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	市の産業の根幹をなす2次、3次産業の活性化は不可欠であり、今の不景気の状態では事業者だけの努力だけでは回復は難しく、行政の支援は必要である。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	補助している団体については、経費削減により効率化を図るよう指導していく。
	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
有効性の評価	手段の最適化	目的達成のためには、さらに効率的な施策も検討していく必要がある。
	職場の効率化	
	目的達成度	
市民参画度	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	中小企業の振興は重要な業務であり、今後も続けていく必要がある。	C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	180	結果指標量②	29
目標値	成果指標量	182	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	振興につながる施策の検討	随時	市の活性化

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。